

## 霞が関働き方改革推進チーム 平成29年度活動報告

## 概要

「霞が関働き方改革推進チーム」は、各府省等の中堅・若手職員により構成され、霞が関における働き方改革の課題に対し具体的な改善策の検討を行うため、28年度から議論を開始。29年度は3テーマについて議論を行い、30年3月に「議論の成果」を取りまとめ

## グループ 1 組織のパフォーマンス向上に向けたマネジメント改善

## 設定した問

■ 「理想の管理職」を養成する「管理職の評価制度」とはどのようなものか



## 解決策の提案

## ● 現行の人事評価制度の運用改善、啓発

- ・期首・期末面談を適切に実施し、組織・業務目標（期首）や目標達成状況等（期末）について認識を共有
- ・被評価者に対しても啓発を実施（自らも組織のマネジメント改善の当事者と認識させる）

## ● 360度評価の導入

- ・管理職を対象とし、教育的目的での制度とし、業務力、マネジメント力、人間力を評価
- ・マネジメント研修との連動、課長補佐級への評価対象の拡大、職場環境評価との連動

## グループ 2 柔軟な働き方と勤務時間管理

## 設定した問

■ 国家公務員の理想とする「柔軟な働き方」を実現するためには何をすべきか



## 解決策の提案

## ● テレワークの利便性向上

- ・実施機会の積極的付与による意識改革、各府省等の詳細な仕組みの共有、ペーパーレス化の推進等

## ● フレックスタイム制度の活用拡大・促進

- ・コアタイムの短縮・柔軟化、申請・変更時期の柔軟化、自動計算フォーマットの共有等

<テレワーク、フレックスタイム制度共通>

- ・制度を活用し業務が効率化された等の優良事例の各府省等に共有

## グループ 3 業務の削減・効率化

## 設定した問

■ 意思決定プロセスを効率化するためには何をすべきか



## 解決策の提案

## ● 迅速な意思決定を可能とする環境整備

- ・オフィス改革による打合せスペースの確保、ペーパーレス化の推進、PCを持ち運び可能に
- ・意思決定権者及び関係者が一堂に会した会議や打合せの実施

## ● 実行を推進し、継続性を高める施策の実施

- ・各府省等担当者による勉強会等の実施、RPA(単純業務の自動化技術)の導入等による定型業務の効率化等

■ 今後の予定：解決策については、各府省等において、平成30年度のワークライフバランス推進強化月間（7・8月）に可能なものから実施。また、内閣人事局や関係機関において順次対応・検討を進める。推進チームについては、引き続き活動を継続。